



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

第45号(2009年1月19日)



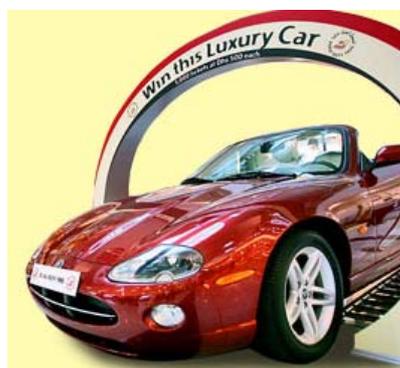
ドバイの免税店

高級車が並んでいることでも有名なドバイ国際空港の免税店(Dubai Duty Free)が、昨年12月で25周年を迎えました。

先日、2008年の年間売上が発表されましたが、過去最高の11億ドル(前年比23%増)となり、世界的な消費低迷が懸念される中でも堅調な売上となった模様です。主な要因としては、空港利用者増加による販売件数の伸びがあるようです。なかでも、高額品の売上が伸びているという点には、ドバイらしさを感じます。

しかし、今年は景気低迷によって海外旅行者の減少が見込まれることから、ドバイへの旅行者も減少することが予想されています。そのため、ドバイの免税店といえどもこれまで通りとはいかない模様です。今後新たな施策が、打ち出されるのでしょうか？

(グッド・ドバイ)



(Dubai Duty Free、Dubai International Airport)



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



中東の携帯電話市場

中東の携帯電話市場が拡大を続けています。

ある調査機関によると、2008年の中東の携帯電話の加入件数は、前年比で47%の増加になったそうです。非常に急速な拡大を遂げているわけですが、これでもまだ中東での携帯電話の普及率はようやく50%を超えたところ、とのことでした。

また2009年は、世界的な景気減速にもかかわらず、前年比で15%程度の増加になると予想されています。ある専門家によれば、中東では携帯に限らず今後ブロードバンド技術が広く普及していくことで、より経済成長のスピードが上がるだろう、とのことでした。



(グッド・バイ)

中東のタブーシリーズ③

イスラム教では豚肉、アルコールを食すことはタブーとされています。

その代わりに、牛肉や鶏肉などを教義に従って調理した「ハラール食品」を食べるそうです。「ハラール」とはアラビア語で、「許された」という意味。牛や鶏を屠畜するにあたっては、心身健全なイスラム教徒によって、アッラーの名を唱えながら行われなければなりません。また、非ハラール食材との接触を防いで調理される必要もあるそうです。

日本では、近年イスラム教の留学生の増加に伴い、生協食堂でハラール食材を使った料理を提供する大学が現れ人気を集めています。ここでも調理方法は徹底していて、食器やとりわけ用の器具も別に用意しているそうなので、留学生も安心です。

ところで、来月はバレンタインデーですね。そういえばチョコレートってイスラム教の方にプレゼントしても大丈夫なんでしょうか？

ご心配いりません。ハラール食品にはチョコレートもあるんです。

ちなみに、イスラム教の方はハラール食材かどうかを確かめるために、成分表示をととても重視するそうです。手作りのアプローチをお考えの方は、ラブレターと一緒に成分表も添えると喜ばれるかもしれませんね。



(マグニチュートー8.2)



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



よくわかる中東情勢②

イスラエルの独立宣言以降、紛争が続きましたが、1990年代に入ると徐々に和平への機運が高まってきます。1993年には、米国などの仲介によりイスラエル政府とアラファト議長をリーダーとするパレスチナ解放機構(PLO)との間で、パレスチナ人によるガザ地区、ヨルダン川西岸地域での暫定自治を認めるオスロ合意が成立。イスラエルとパレスチナは2つの国家として共存していく理念(二国家共存)を、国際社会と共有することになりました。その後1990年代を通し、オスロ合意に基づいて最終的な和平に向けた話し合いが続けられましたが、和平への努力が続けられる中でもパレスチナ過激派によるテロは続き、イスラエルにおいても次第に強硬派が台頭し始め、90年代後半に入ると和平交渉は大きく停滞してしまいます。

2000年には米国仲介のもと、米国のキャンプ・デービッドにおいて、アラファトPLO議長とバラック・イスラエル首相の間で話し合いが持たれ、オスロ合意に基づき最終和平に向けた調整が行われましたが、東エルサレムの帰属問題、パレスチナ難民の帰還先などについて合意が得られず、結局和平交渉は膠着状態となってしまいます。

こうした中、イスラエルのシャロン・リクード党党首がイスラム教徒の聖地でもあるエルサレム旧市街の「神殿の丘」を訪問。これに猛反発したパレスチナ人が蜂起して、イスラエル・パレスチナ間で大規模な衝突が起こります。さらに強硬派のシャロン党首が翌年2月にイスラエルの首相に就任すると、衝突はますますエスカレートし、イスラエル軍による自治区への大規模な攻撃へと発展してしまいました。



オスロ合意で握手をするラビン首相とアラファト議長

(ミドル・イーストウッド)

出所：外務省



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



【ご参考】 中東(GCC)地域の株価推移
(各市場の直近3ヶ月)

ドバイ金融市場総合指数



サウジアラビア タダウル全株指数



クウェート証券取引所指数



出所:ブルームバーグ

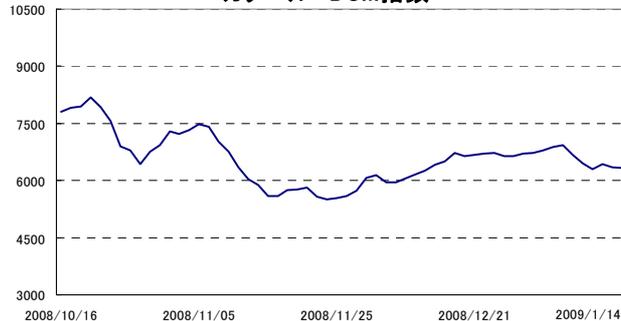
アブダビ証券取引所株価指数



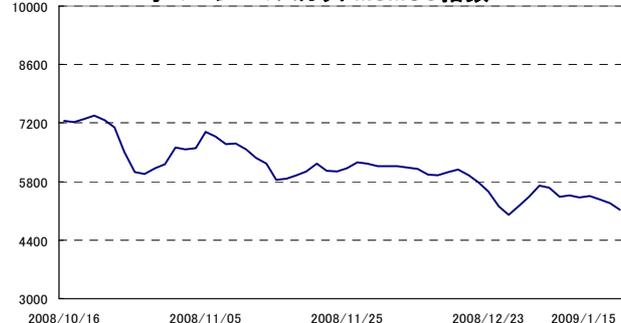
バーレーン全株指数



カタール DSM指数



オマーン マスカットMSM30指数



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。